



「JTの森 鯉が窪にいみ」は、岡山県が推進する「企業との協働の森づくり事業」を活用し、岡山県、新見市、JTが「JTの森 鯉が窪にいみ実行委員会」を中心とした地元の方々と協働して、新見市哲西町で取り組んでいる森林保全活動です。

JTの森 鯉が窪にいみの歩み

2016年からスタートした本活動では、森の健全な成長に必要な間伐や除伐に加え、植樹を行い地域の豊かな水環境を支える森の水源涵養や土砂流出防止の機能を、さらに発揮するべく、約9年間にわたり活動してまいりました。

2025年は3期目となり、日照の確保と流入水の回復を目的に湿原周辺樹木の伐採を行い、湿原本来の環境の維持と生物多様性の保全に取り組むことで、多様な生きものが暮らす湿原に恵みをもたらす森づくりを目指します。



これまでの森林整備の取り組み



植栽事業



保育事業



遊歩道整備事業

植栽木が健全に生長するよう、継続した下刈等の手入れを実施

地域住民と社員等による間伐や森林組合への委託による間伐

鯉が窪湿原内遊歩道沿いの、支障枝の除伐作業を実施

JTの森 鯉が窪にいみ

実施地：岡山県新見市哲西町上神代・大野部地内新見市有林

面積：36.08ヘクタール（森林整備エリアの変更により、2期より対象面積変更）

整備テーマ：「次代につなぐ魅力あふれる森づくり」

主な整備：除伐、枝打ち、間伐、少花粉スギの植栽、下刈など

活動期間：2016年から活動開始

協定期間：3期/2025年4月1日より1年間

地域とともに

活動や整備計画には、地元団体や林業関係団体等様々な方が実行委員会として携わっています。また、森づくりのボランティア活動には、岡山だけでなく、広島、山口、島根、鳥取からもJTグループ社員有志が結集。さらに地域の方々も加わり、豊かな森に育てるために、大勢が知恵と力を出し合っています。



JTの森 私たちJTは、森を育て 守っています

私たちJTグループは、たばこ、加工食品事業を中心とした事業活動を展開しています。

事業では、葉たばこや紙、野菜など植物を中心とした自然由来の原材料を使用しています。

私たちの事業を支えてくれる自然の恵みに感謝し今後も自然環境を大切にしていきたい……。

そうした想いから、自然環境保全の一環として、森林保全活動を進めています。

現在、JTの森の活動は全国9か所で実施しております。

